

災害復興掲示板

本庁 ☎24 - 1111

吉田支所 ☎52 - 1111

三間支所 ☎58 - 3311

津島支所 ☎32 - 2721

宇和海支所 ☎62 - 0311

※詳しくは、お問い合わせください。

復興へのあゆみ vol.21

復興に向けて一。あゆみを進める人をご紹介します。

恩を返しなが、復興へのあゆみを「みんな」で届ける

吉田町でかんきつの栽培や加工品の販売を行う大久保農園は、平成30年7月豪雨で農園や倉庫などが被災しました。崩れた山ではミカンの木が流れ込み、倉庫の中には大量の土砂が流れ込み、ジュースや資材、作業用具のほとんどやリフトまでもが跡形も無く流されてしまいました。途方に暮れながら片付けを行う中でも、友だちや後輩が毎日のように手伝いに来てくれたり、東京への出店などでできた多くの仲間がボランティアで駆けつけてくれました。片付いた倉庫で開催されたイベントには約80人が集まり、地元の食材を

使った料理や、今回のつながりから生まれたオリジナルクラフトビールなどが振る舞われました。それでも農園の復旧には時間がかかり、被災後1年は片付けに追われほとんど山へは行けず、2年目で自分の園地のことを少しずつできるようになってきました。そして3年目を迎えた今、吉田地区全体で復興へあゆみを進めていることをPRするため、みんなで美味しいジュースを作ろうと考えました。知り合いの農家に声をかけると、約30の農家が参加し約8トン、4千本弱の復興ジュースができあがりました。まず



大久保農園
大久保 幸裕 さん

profile

吉田町でかんきつの栽培や、ジュースやゼリーなどの加工品を取り扱う。15年以上試行錯誤を繰り返しながら無農薬・有機栽培に取り組み、首都圏などにも積極的に出店してファンを増やしている。



当時のことも少しは笑い話にできるように



吉田町内のさまざまな地区から集まったかんきつ



東京でのイベント出店の様子

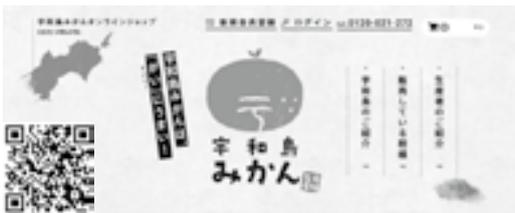


倉庫には大量の土砂が流れ込んだ

宇和島みかんオンラインショップ

宇和島かんきつ食べ比べセット、せとか、甘平、ブラッドオレンジ、不知火などを販売しています。

このサイトは、平成30年7月豪雨からの復興支援プロジェクトとして、フィリップモリスジャパン合同会社や(一社)RCFの支援で開設されJAえひめ南が運営しています。自宅で宇和島産のかんきつが楽しめます。ぜひご覧ください。



きれいになった倉庫でイベントを開催

は県内の飲食店で提供する予定で、市内で取り扱ってもらえるところも募集しています。今後はもっと多くの農家に参加してもらい、県外にもPRしていきたいと話します。「木が流されたところはミカンを作れていなかったの、復興の取り組みの恩恵を受けられていないところも多かった。園地復旧が進んできたことからが頑張りどころ。また、被災したときに助けてくれた飲食店や観光業の仲間が、今はコロナ禍で困っている。今度は自分たちが助ける番。大変だけど、できることで力になりたい。」と話してくれました。